

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.4
2008
10

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ガバナーメッセージ
- 2 職業奉仕月間にあたって
- 3 ロータリー米山記念奨学事業とは
- 4 米山奨学事業にご理解・ご協力を
- 5 地区米山学友委員会の活動について
米山奨学生紹介
- 6 私の“Rotary Notes”
国際ロータリーのビルダー
- 8 ガバナー補佐レポート
3か月、60年、104年、
- 9 クリンギンスミス氏が2010-11年度RI会長に指名される
- 10 第2グループIMと滝川クラブ創立50周年
- 12 第2510地区親睦野球大会を終えて
- 13 地区委員会報告
2008-2009年度 WCS事業申請締切日のお知らせ
- 14 ガバナー公式訪問
- 17 訃報 岩田弘志 前ガバナー補佐が逝去
- 18 新入会員のご紹介／訃報
- 19 岩手・宮城内陸地震災害義援金報告
ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
- 20 2008-09年度 地区大会来訪 RI会長代理の紹介
2011-2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い
文庫通信
- 21 出席率・会員数
- 22 地区カレンダー(10月・11月)
- 23 地区組織図等の変更について
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

札幌でお会いしましょう

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

今年度第1四半期が終わり、今月はいよいよ地区大会です。大会2日目、記念講演にはふたりの講師をお迎えします。

おひとりは、北海道出身の寺島実郎さん。(財)日本総合研究所の会長、三井物産戦略研究所の所長ほか様々な要職・公職を抱える論客です。テレビや雑誌に頻繁に登場しては、国際紛争から地域社会の課題まで、難しいテーマをすらすらと解説されます。お忙しい日常、情報収集等よく勉強する時間があるものだ、と週刊誌の寺島さんのコメントを眺めながら感心しております。翻ってガバナーを仰せ付かっている私。ロータリアン歴だけはいたずらに重ねてきましたが、さてロータリーについて語れと言われると、いまだ心許無い。ただ、公式訪問を毎日のようにこなしておりますもので、場慣れはしました。PETSの頃は、緊張のあまり口の中が乾き切って、唾液の出る薬を買い求めたほどでしたが。日本中の視聴者を相手に持論を展開する寺島さんですから、ロイトンのステージでもよどみないお話を聞かせてくださることでしょう。45年前、当地・札幌を闊歩する寺島さんの高校生姿を思い浮かべながら、みなさんと一緒に拝聴したいものです。

もうひとり三浦雄一郎さん。世界歴代2位となる75歳でエベレスト再登頂を果たしたのが、5月26日。講演日のちょうど5ヶ月前です。後期高齢者の星!なんて崇められているそうです。ロータリアンにも75歳前後の方は多いですね。斯く言う私も、三浦さんより2年若いだけ。若いからといってエベレストを目指せるわけもなく、藻岩山を目指すのも躊躇します。膝関節の軟骨が磨り減っているようで、階段の昇り降りもきつい。トシだから仕方ない、と片付けようと思ったら、年上の三浦さんがエベレストを登っちゃった。

いつの時代にも元気な年寄りはいるもので、私の若い頃にも「あの爺さん、元気だなあ」と敬服した先輩がいました。自分が来年から後期高齢者と呼ばれる年代になってもなお、三浦さんのような元気な先輩のお話を聴けるのは嬉しいものです。

地区大会の記念講演、講師は例年おひとりですが、今年はおふたりにお願いしました。例年の2倍、お楽しみください。

地区大会にはRI会長代理をお迎えするほか、他地区からガバナーの来訪を受けます。同期のガバナーから「矢橋さんこの大会、行くからね」と言われると、ロータリーの友情を実感します。同時に、私も他地区の大会をいくつか訪ねる予定です。今月、大会を開催する地区は11地区。国内34地区の1/3が10月に集中します。来月は10地区。公式訪問の合間を縫っても、多くは出席できません。同期のガバナーは、米国における国際協議会の1週間の缶詰勉強で連帯感を養います。帰国後も情報交換やら相互訪問やらで、関係を持続させます。パストガバナーになってからも、同期で定期的に集まるのが慣例。先日も当地区のパストガバナーが音頭をとって全国から集結、道内を旅行されました。その旅程、札幌市内での夕食時、配られたお皿にはガバナーだった年度のRIテーマのロゴマークが刷られていたそうです。そのホテルの職員が、ローターアクトの元地区代表。たまたまその宴席を担当したので、パストガバナーたちに喜んでもらおうと趣向を凝らしたのだとか。久方ぶりのロゴを眺めながらの食事は、ますます盛り上がったことでしょう。

私は、「夢をかたちに」の赤と青のロゴを毎日見ながらガバナーの仕事をしています。今年度が無事終了し、同期のガバナーたちと集まって何年後か、ふいに「Make Dreams Real」が目飛び込んだら。思い出すのは唾液促進剤よりも、地区大会の会場を埋め尽くすみなさんの笑顔であることを期待して。

10月26日、札幌でお会いしましょう。

職業奉仕月間にあたって

地区職業奉仕委員長 網木 保利
(苫小牧東RC)

ロータリー哲学（理念）の中核、それは「職業奉仕」にあります。そして職業奉仕はロータリーが職業人の集まりであり、自らの職業の実践を通して他人の役に立とうとするから、「ロータリーの金看板」ともいわれます。すなわち「利益を得ながら奉仕を行う」ことがロータリーの基本です。ここで大切なことは、「奉仕の心」を伴わない実践ではなく心と実践が相俟って初めて、結果として利益が得られるのであり、それを称してロータリーの専門用語として「職業奉仕」といわれています。ロータリーにおける職業奉仕はA・Fシェルドン（1868—1935）の「He Profits Most Who Serves Best」（最もよく奉仕する者、最も多く報われる）によって今日の姿となっています。

私たち職業人が自分の事業を継続的に発展させようと願うこと、また企業経営によって利益を得ることは当然であり、決して卑しいことではありませんが、非合法・非道徳的な方法、他人から批判を浴びる方法で事業を伸ばしたり利益獲得に走った場合、一時的に大きな利益を得ることがあっても、それは決して長続きするものではない、ということも当然であります。

職業奉仕の実践は顧客の満足度を最優先した事業経営の方法ですから、結果として当然の如く高い職業倫理が発揚されます。それは、職業倫理の高揚を目的とした活動ではなく、職業奉仕を実践したならば、結果として職業倫理が高まるというものです。これが原始ロータリーにおける一般奉仕理念であり、四大奉仕の分化に伴って現在の職業奉仕に引き継がれてきました。

しかるに企業に纏わる不祥事が今なお続発し、後を絶ちません。例会出席での「精神的親睦」（ゴルフや懇親会のことではありません）を通して一人ひとりに感謝が芽生え、結果として利他の心を涵養し、この利他の心が善意を呼び起こし、互いに深い友情と信頼で結ばれ奉仕の理念を発揮する必要があります。

この職業奉仕を実践する一助として「ロータリアンの職業宣言」、職業奉仕を自己評価する尺度として「4つのテスト」が用意されています。また、私達は健全な人間教育を基礎として、初めてロータリーの「サービスの理念」とこれに基づく職業倫理を心の中に確立することが出来るのではないのでしょうか。「教育」とは知識を得ることではなく、能力を引き出すこと。つまり人間の資質の開発や発展を意味し、それは奉仕をすることを自らに適用することによって信頼性、忍耐力、行動力が高められ、勝者に導かれます。

日本においては今から400年前（江戸時代初期）に「鈴木正三」という思想家がおりました。「正三」の職業観は「何れの事業（ことわざ）も皆仏行なり」。すなわち「職業即仏行」を説き、ロータリー誕生の250年前に既に、当時の日本の民衆の中にこの職業意識を普及させました。特に「万民徳用」・「驢鞍橋」は戦後においても大きな影響を及ぼしました。これはまた、プロテスタントの職業倫理とも一致し、シェルドンのサービスの理念と対比しますと、ロータリー本来の職業奉仕とは違いますが、日本人が職業奉仕をより深く理解する上で意義あることと思われまます。

21世紀の産業構造は大きく変化しております。私達はシェルドンの職業奉仕を原点としつつ、綱領や（4方向を一つの単位としての）4つのテストを各クラブが積極的にその理解と周知、普及を奨励し、ロータリアン一人ひとりが力強く一步を踏み出してその理解と周知、普及に努め、時代の変化に即応した道徳律（倫理訓）を作ったり、新しい職業奉仕のあり方を話し合い、実践により自分が関係する周囲の経営環境や生活環境に強い影響を及ぼす時が来ているのではないのでしょうか。そして今一度低下した職業倫理の高揚を取り戻しましょう。格調高いロータリー理念の中にあって、自らの職業奉仕でロータリーライフを楽しみたいものです。

ロータリー米山記念奨学事業とは

(財)ロータリー米山記念奨学会 常務理事 **伊藤 長英**
(苫小牧北RC・PG)

10月は米山月間です。ご承知の通りこの事業は、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

■**事業の使命** 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育成することです。“平和と国際理解の推進”そのものです。

■**日本独自の他地区合同奉仕活動** “日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として1952年東京RCが始めた事業が、日本全国のRCの共同事業として発展し、1967年に(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。日本独自の多地区合同奉仕活動です。

■**なぜ留学生支援なのか?** 「今後、日本の生きる道は平和しかない。それを世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないか」。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから50年以上の歳月が流れましたが、この事業の使命は一貫して不変です。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

■**日本最大の民間奨学事業** 最近の年間奨学生数約800名、事業費約14億5千万円、今までに支援してきた奨学生数は、累計で14,500人。その出身国は、世界113の国と地域に及ぶ。

■**世話クラブ・カウンセラー制度** 奨学金による経済的援助だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのがこの奨学事業の最大の特長です。「普通の学生生活では知り得ない日本社会を体験できた」「ロータリーの奉仕の心に触れて、人間的に成長できた」など、奨学生にはかけがえのない経験となると同時に、支援するロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し理解を深める機会となっています。

■**寄付金はこのように使われます** 頂いた寄付は、すべて奨学生のために使っています。管理費は利子収入で賄っています。

■**寄付について** 2007～08年度の一人当たり平均寄付額は、全国平均14,904円です。我が2510地区の平均寄付額は11,018円で、全国34地区中24位でした。矢橋ガバナーが今年3月2日に行われた米山セミナーにおいて示された目標額は前年度の目標と同額です。

普通寄付金：4,000円

特別寄付金：1ヵ月1,000円として 1ヵ年12,000円

普通寄付金+特別寄付金=16,000円です。

2007～08年度に目標を達成できたのは10クラブ、全国平均を上回ったのは14クラブでした。

尚、クラブ創立記念特別寄付及び地区大会記念寄付も各クラブや各地区から頂いています。

■**米山記念奨学会への寄付金には税法上の優遇措置が受けられます。(特定公益増進法人)**

個人が特別寄付をした場合：特別寄付金額-5,000円=寄付金控除額

法人が特別寄付をした場合：一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入できます。

■**米山学友の活躍と恩返し**の寄付 我々のお世話したアジアを中心にした米山学友は、すでに13,687名に達しています。彼ら学友は夫々の国で各界において活躍しています。その中の一人、北京で弁護士事務所を開いている姫軍(ジ・ジュン)さんからは、今年2回目の50万円のご寄付を頂き大口寄付者となり、今後毎年50万円の寄付をされるつもりと伺っています。また韓国の田鎬鎮(ジョン・ホ・ジン)さんは、毎月1万円の寄付を続けられ、既に36万円になりました。その他大勢の学友からのご寄付が合計1千万円を超える額に達しました。大変嬉しいことです。

■**広報活動** 今年6年ぶりにビデオ(DVD)を作成し9月中に各クラブへ送付しました。米山月間に各クラブにてご覧下さい。米山奨学事業・豆辞典は毎年作成し、全ロータリアンに配布しています。内容が大変充実していますので是非参考にして下さい。

米山記念奨学事業へのご理解を深めて頂き、ご協力をお願い申し上げます。

米山奨学事業にご理解・ご協力を

地区米山記念奨学委員長 **大石 春雄**
(札幌はまなすRC)

(財)ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

この米山奨学事業は、日本最初のロータリー・クラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで構想が立てられたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に文部省（現文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。これまでに113カ国から14,500人の奨学生が巣立っており、規模と実績ともに民間で最大の留学生奨学団体となっています。

今年度は、全国では813名の留学生を支援しており、中国47.0%・韓国14.1%・台湾6.6%となっております。第2510地区では、18名の奨学生を支援しており、中国9名、韓国3名、台湾2名、ラオス・フランス・カンボジア・スリランカ各1名となっております。

1. 目的・使命

米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。米山奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

2. 寄付金の推移

社会情勢の影響から毎年減り続けていた寄付金は、2005—06年度に普通寄付金、特別寄付金とも上昇に転じました。2007—08年度は普通寄付金0.91%減、特別寄付金0.42%増、前年度比0.42%の増となりました。因みに寄付額の総計は、1,451,904,470円であり一人当たりの平均金額は、14,904円でした。

第2510地区は、32,096,996円であり一人当たり平均額は11,018円であり、全国24位となっております。一人当たり最高額は、第2590地区神奈川県横浜市、川崎市で、29,169円となっております。13年連続首位を更新中です。留学生の支援人数は寄付金に応じて決定しますので、ロータリアン皆様の更なるご支援をお願いする次第であります。

3. 寄付金の目標

ロータリアンの皆様から頂いた寄付金は、全額奨学金として使われております。奨学金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は国内全クラブから各クラブで決められた金額×会員数です。特別寄付金は、任意の寄付であり会員個人、法人またはクラブからの寄付金です。今年度の矢橋温郎ガバナーは、普通寄付4,000円、特別寄付金12,000円、合計16,000円を目標とし、お願いしているところです。

最後に

米山奨学事業は日本のロータリアンが築きあげた、国際平和に資する奉仕活動です

日本に居ながら国際交流。母国の未来を担う若者にロータリースピリットを伝えましょう

卒業後も連絡を取り合い、クラブや地区に、近況を知らせてください

地区米山学友委員会の活動について

地区米山学友委員長 村上 淳
(札幌東RC)

このたび米谷龍三前委員長の後を受けて、2008—09年度から米山学友委員長を仰せつかりました。なにぶんロータリークラブでの在籍も浅く、また米山奨学会や米山学友会についても初めての経験であり、知識や理解がまだまだ不足しておりますが、台湾ご出身の米山学友会会長並びに見延初代学友委員長・米谷前委員長、更には大石米山奨学委員長の皆さんのご協力とご支援を頂きながら、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。たまたま私は、海外留学と海外勤務の経験が約6年近くあるので、その経験も今後少しでも役に立てることができればと思います。米山学友会は、この12月でちょうど10周年とのことですし、米山学友委員会も7年目に入ったと聞いております。5月31日に開催された米山学友家族懇親会で初めて会員の皆さんにお会いでき、短い時間でしたが熱心な皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。

次年度の活動方針は、基本的には従来の方針を継承して行きますが、今年度RIのテーマである「夢をかたちに」に則ってその実践に向けて努力すると共に、ロータリーの基本的な理念である「四つのテスト」にも沿った活動を目指したいと思います。

そして米山記念奨学会からの奨学金の支援を受けた留学生が、米山奨学期間の修了後も米山学友となって、現役奨学生とロータリアンとの交流を深めながら、将来日本と出身国とを結ぶ架け橋となっていくと共、ロータリーの理想とする国際交流と国際親善および国際平和の創造と維持に貢献するという目的を達成するための一助となるように、微力ながら努力して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

米山奨学生紹介

- ①国籍
- ②大学名
- ③課程学年
- ④専攻
- ⑤奨学金種類
- ⑥期間
- ⑦世話クラブ



ダシルワ・プブドゥ君
①スリランカ
②室蘭工業大学
③修士2年
④情報工学
⑤YM奨学生
⑥2007/4～2009/3
⑦室蘭RC



アヌルプアマイティ君
①ラオス
②鶴岡学園大学
③修士2年
④鶴岡学(畜産飼料)
⑤YM奨学生
⑥2007/4～2009/3
⑦江別西RC



周 宇君
①中国
②小樽商科大学
③修士2年
④現代商学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



何 曉光君
①中国
②札幌大学
③修士2年
④経営学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



黄 仕 豪君
①台湾
②札幌国際大学
③修士2年
④観光学研究
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦新札幌RC



王 大 力君
①中国
②北海道大学
③修士2年
④経営学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌南RC



楊 穎さん
①中国
②北海道文教大学
③修士2年
④言語文化コミュニケーション
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦恵庭RC



プーマーウォン・ボンマツト君
①ラオス
②室蘭工業大学
③学部4年
④情報工学
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌RC



洪 嘉 偉君
①台湾
②鶴岡学園大学
③修士6年
④獣医学
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦江別RC



Kim Hyeon
①フランス
②北海道大学
③修士2年
④言語文学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌東RC



李 炯 直君
①韓国
②北海道大学
③修士2年
④現代経済経営
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌西RC



肖 桐さん
①中国
②北海道大学
③修士2年
④生命理学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌東内RC



ディアブ・チャムラウン君
①カンボジア
②北海道大学
③学部4年
④情報工エレクトロニクス
⑤YU奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌西RC



宋 昌 鎰君
①韓国
②北海道大学
③修士4年
④獣医学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌RC



宿 媛さん
①中国
②北海道大学
③修士2年
④海洋応用生命科学
⑤YM奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦西館五稜RC



田 元 勇君
①中国
②北海道大学
③修士2年
④環境応用生命科学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦西館東RC



于 洪 文君
①中国
②北海道大学
③修士3年
④環境起学
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2009/3
⑦札幌手稲RC



金 銀 珠さん
①韓国
②北海道大学
③修士2年
④国際広報メディア
⑤YD奨学生
⑥2008/4～2010/3
⑦札幌はまなすRC



国際ロータリーのビルダー

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《チェスレイ・ペリー》

“THE GOLDEN STRAND”によるとポール・ハリスがロータリーの全国組織を夢見たのは、第2番目のサンフランシスコ・ロータリークラブが出来た1908年の秋であると書かれています。ペリーはロータリークラブの連合会（現在の国際ロータリーの前身）を作ることに詳細な計画を立てていました。しかしこの新しい組織の一員として忠誠を誓うことに対して、多くのシカゴクラブの会員たちは造反しました。No1クラブを自負する彼らは「我々のクラブから自由な行動を奪う」と叫びました。またあるものは「それぞれのクラブに自治権を与えるべきです。われわれは協力をいといませんが、制限を受けようとは思いません」と主張しました。しかし他の一派はこう主張しました。「ちょうどいくつかの州がアメリカ連邦政府を形作っているように、ロータリークラブの連合には力があります。統合された連合会ならもっと多くのことが遂行できるに違いありません」この見解が最終的に勝利をおさめました。そして1910年16のロータリークラブがシカゴのコンGRESSホテルで第一回全米ロータリークラブ連合会が開催されました。

《デザイナーとビルダー》

ポール・ハリスは言いました。「もし自分がロータリーの設計者といわれる資格があるとすれば、チェスレイ・ペリーは間違いなく国際ロータリーの建設者である。」まことにその通りで彼のロータリーのビルダーとしての功績はハリスの陰に隠れていることが多いが、もしペリーがいなかったなら今日のロータリーは望めなかったでしょう。チェスレイがシカゴクラブに入会したのは1908年でハリー・ラグルスが紹介者でした。入会時に彼がロータリーに期待したものは「友情」でしたがその点は期待通りでした。しかしペリーはそれ以外にはるかに強く印象付けられるものを発見しました。そのとき彼は36歳で、19世紀から20世紀への変り目に起こった「食うか食われるか」の激しい商売の世界を十分すでに知りつくしていました。ところが彼の驚いたことに、ロータリアンの実業家はお互いに助け合い、さらに競争相手と仲良くしているではないか。彼はロータリーの「奉仕の理想」を“Thoughtfulness and helpfulness to others”（他人への思いやりと助け合い）と表現しました。

これは“The Golden Rule”（黄金律）で「マタイ伝」の中の「己の欲することを人のためにせよ！」と言うキリストの言葉です。同じ意味のことは、釈迦も孔子も、モハメッドも述べている、つまり世界万人に通用する道徳律なのです。ペリーは52年の長い間ロータリアンでした。特に1910年からの32年間は国際ロータリーの事務総長（幹事）を務め、その間にロータリーの定款・細則を整備し、また、RIの行うべき任務を組織化しました。彼は名利には恬淡で、数々の功績にもかかわらずRIの会長にはならず、生涯を一ロータリアンとして、ハリスを助けロータリーの発展に尽くした偉大な人でした。

《生涯一ロータリアン》

1954年のシアトルの国際大会でペリーを名誉事務総長に推薦する提案がなされ、会場は満場一致で賛成しようとなりました。その時会場の片隅から年老いた一人のロータリアンが立ち上がり、「ロータリアンは何一つ野望を持つべきではない。ただ一ロータリアンとしてあるのが理想である。従って彼はこの提案である名誉事務総長を辞退すべきだと考えます。かく言う私の名はチェスリー・ペリーであります。」と。会場はしばし万雷の拍手が鳴りやまなかったそうです。

彼はシカゴロータリークラブの会員であることに誇りを持ち、RIの事務総長の職を辞した2年後に、シカゴクラブの会長を務めました。

《ペリーのロータリー観》

ペリーは、ロータリーは決して独裁的な組織であってはならない、常に各クラブの自主性を尊重しなければいけないという固い信念を持っていました。さらにクラブよりロータリアン個人のほうがはるかに重要だと考えていました。世界を改造する最善の方法は、人間そのものを改造しなくてはならない、人間個人の進歩こそ最大の重要事項であると信じて疑いませんでした。

現在RIは各クラブの地域性などを無視して、RIの方針に従うのは当然とばかり、半強制的に世界中のクラブを判で押したような画一的なクラブにしようとしています。DLPやCLPをはじめ指導力養成マニュアルが次々開発され、クラブの自主性は薄れました。われわれは円滑なクラブ運営のためにはRI提唱の科学的組織マネジメントの弊害も心得ておかねばなりません。

《CLP導入の準備》

近年、ロータリーの研修資料はCLP採用を前提として編集されています。CLPは個々のクラブの強化のために推奨される管理体制です。RIはDLPの延長線上としてクラブに強力に採用を奨励しています。当地区としては、次年度は地区、クラブともに十分な検討期間にしたいと考えています。なぜなら導入するためにはクラブの長期的ビジョン策定推進のマニュアル作りが先決です。クラブがCLPを導入するためには、現在、次期、元クラブ指導者による長期計画の策定など9項目の条件をクリアしなければなりません。大切なことはRIから言われたからCLPをやるのだということではありません。日本には日本のクラブ運営の特徴がありますし、それぞれのクラブにもそれぞれの特徴があるので丸写しをすることは避けなければならないというのが当地区の考えです。魅力あるクラブ作りのためまず各クラブの明確な意思とビジョンが必要なのです。

《真のリーダーシップ》

元RI会長のラタクルさんは、2005年のアナハイムの国際協議会で、リーダーシップについてスピーチをされました。「最も理想的な指導者とは、部下からその存在さえも意識されない。部下から敬愛される指導者は、それよりも一段劣る。これよりさらに劣るのは部下から恐れられる指導者である。良き指導者とは、功を成し遂げても自らはそれについて語らず、人々が『われわれが自分たちの力で成し遂げたのだと喜ばは、それで目標は果たされたとする』という中国の思想家・老子の教えを引用しました。

1960年2月のある寒い日曜日の朝、自宅から郵便物を小脇に抱えてポストへ歩んでいったペリーは枯れ木の崩れるように倒れ、天国に召されてゆきました。享年88歳でした。遺骨は遺言によって一生、住み働いたシカゴやエバンストンの町から毎日眺めて暮らしていたミシガン湖に撒かれました。



3ヵ月・60年・104年.

地区ガバナー補佐（第4グループ担当）

大島 利一

（札幌西北RC）

第4グループのガバナー補佐に就任してから3ヵ月になる。指名を受けてからだ9ヵ月になる。私の担当するクラブは8クラブである。これまでに各クラブを2回訪問させてもらった。第4グループの紹介はノルマの訪問回数終了後に報告したいと思う。自分のホームクラブ以外のクラブに訪問する機会が余り無かったので他クラブの運営や例会の楽しみ方・特色などホームクラブと違う活動と親睦が見られ訪問毎に新しい発見がありロータリー活動が一層楽しさが増えて大いに勉強になりありがたい役職を与えて頂いたと心から思う。

私の趣味の一つに切手蒐集がある。蒐集暦は60年程になる。国際ロータリーが誕生してから104年目、私がクラブ会長を務めさせてもらったのが新しいロータリースタートの101年目だった。国際ロータリーの100年を祝って世界各国から記念切手が発行された。世界で切手を発行している国と機関は253程ある。そのうちロータリー100年記念切手を発行した国数は不明だが、私がこれまでに集めた国数は68カ国になる。小型シートを含め129種類になる。発行国のほとんどが発展途上国で聞きなれない国名が多い。切手のデザインでは1番多いのはロータリーのロゴマークだけのものが34種で、描がかれているロゴマークが正確なものかどうか検証するのも楽しいし、意地悪くロータリーから援助を受けたので儀礼的に発行した切手なのか推測するのも面白い。2番目に多いのはポリオに関連したデザインで中にはポリオのワクチン開発者ジョナス・ソークを描いた切手もありこのデザインからは本当に感謝して記念切手を発行してくれたのだと思うと嬉しくなる。3番目は子供の教育関係を描いた切手が16種類。ロータリーの創始者ポール・ハリスを描いた切手が14種で4番目。面白いのはポール・ハリスとケネディ大統領とのツーショットだと説明のある切手を良く見ると不適切行為で有名なクリントン大統領の写真だったり発展途上国の気にしない気質も見られ説明エラーを捜すのも楽しい。その他のデザインは飢餓・自然環境をテーマにしたものとなっている。日本で発行した切手のデザインは発展途上国の子供と思われるもので、どこの国の子供なのか不明でテーマもポリオなのか飢餓・識字なのか奉仕活動が良く分からなく切手蒐集家からの評価は低い。しかもグレナダ国発行の切手のデザインと類似しているのめいかなものかと思ってしまう。一般の人達に日本のロータリーの活動が理解してもらえるようなデザインとして切手を発行してもらうためにもロータリーとしての広報活動は大事なのだと考えさせられてしまう。2008～09年度のRIテーマは『夢をかたち』である。『夢をかたち』することは沢山ある。国際的・地区・グループ・クラブ・個人それぞれがコンセンサスを得てできることから“かたち”にして行けば良いと思う。大小にかかわらず“かたち”にするには汗をかく必要がある。切手を集めるのも結構汗がでる。たかが切手と思われるが、なかなかどうしてされど切手である。ロータリアンの切手蒐集家との切手談議で親睦と友情を深めるのも楽しい『夢』である。



発行国 パパニューギニア
初代会長シルベスターとポール・ハリス



発行国 ネパシ
子供とポリオワクチン



発行国 タンザニア
ポリオ開発者 ジョナス・ソーク



日本切手 シートの一部
子供たち

クリンギンスミス氏が 2010—11年度RI会長に指名される

記事：Jennifer Lee Atkin
国際ロータリー・ニュース2008年8月13日

米国（ミズーリ州）、カークスビル・ロータリー・クラブに所属するレイ・クリンギンスミス氏が、2010—11年度RI会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合は、10月1日をもってクリンギンスミス氏が会長ノミネーとなります。

ミズーリ大学で経営学および法律の学位を取得した後、ロータリー財団国際親善奨学生として、南アフリカのケープタウン大学へ留学し、大学院生としての研究を終えました。1973年より、カークスビルにあるノースイースト・ミズーリ州立大学（現在はトルーマン州立大学と改称）で総合弁護士と経営学の教授を務め、1995年に退職しましたが、その間5年にわたり、管理学部長の地位も修めました。

現在は弁護士事務所を経営するクリンギンスミス氏ですが、2001年から2004年にかけては、郡政委員を務めたほか、1971年からは、メーコン・アトランタ州立銀行の理事を、1982年からはChariton Valley Association for Handicapped Citizens（シャリトン・バレー障害者協会）の会長を務めています。ジュディー夫人との間には、子供が二人、孫が三人います。

1961年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998年規定審議会（インド、ニューデリーで開催）ならびに2008年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RIに奉仕してきました。1985—87年度にはRI理事となり、1986—87年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002年にはロータリー財団管理委員となり、2005—06年度には副委員長を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功労表彰状と特別功労賞の両方を受賞しています。さらに、ミズーリ州発育障害者のための計画審議会（Missouri Planning Council for Developmental Disabilities）による保護者・介護者賞（Parent/Caretaker Award）、社会奉仕に対するトーマス D.コシュラン賞（Thomas D.Cochran Award）、ミズーリ州司法協会青年弁護士会による表彰、自身が理事を務めたこともある米国ボーイスカウト・グレートリバー地方連盟によるSilver Beaver賞など、地域社会で数々の表彰を受けています。

ロータリーの最盛期はこれからやってくる、とクリンギンスミス氏は信じています。

「世界をより良くするために影響を与えるロータリアンの力と評判は、これまでになく高くなっていると思います。ロータリーの未来は明るいのです」とクリンギンスミス氏。「RIの長期計画とロータリー財団の未来の夢計画は、未来へのロードマップ（具体的計画）として優れています。しかし、協同パートナーの選定や、若年会員の勧誘、また、もっと若いリーダーが地区ガバナーとなれるよう地区に変革を促していくことについて数々の決断を下していくには、リーダーたちが型にはまらないビジョンと賢明さを持ち備えていなければなりません」



2010—11年度国際ロータリー会長の指名委員会により選出された、米国（ミズーリ州）、カークスビル・ロータリー・クラブのレイ・クリンギンスミス氏。
Photo by Alyce Henson/Rotary Images

第2グループIMと滝川クラブ創立50周年

地区ガバナー補佐（第2グループ担当）

神部 洋史

（滝川IRC）

去る9月7日（日）滝川市ホテルスエヒロで「第2510地区第2グループ（以下G）都市連合会（以下IM）」、「滝川ロータリークラブ（以下RC）創立50周年記念式典」および「創立記念祝賀会」が無事終了したので報告させて頂く。（なお記念ゴルフコンペと懇親会は前日の6日に砂川市の空知CCで無事終了した）

第1ラウンドは午後3時からのIMであった。G内の4クラブからは総計230名の内207名（実に90%）のご登録を戴いた。式次第に沿って報告すると、ガバナー補佐（以下AG）による点鐘、戸井実行委員長の開会宣言、再度AGが登壇して、ご来賓の紹介と変則的なIMの開催時期説明と3つの行事の同日開催のためにスリム化したIMに、ご理解を戴く挨拶をした。次に北谷次期AGの紹介と次年度各RC会長・幹事予定者の紹介、さらに齋木前AGへ記念品贈呈とセレモニーが執り行われ、厳粛な中にもロータリーの雰囲気にも包まれた役職の委譲式が行われた。IMの勉強会として塚原パストガバナー（以下PG）から50周年に相応しく『過去に学んで行動せよ』というタイトルでご講話を戴いた。（内容略記）



織田信長の「人間50年、化天（げてん）の内を比ぶれば、夢幻のごとくなり」、=半世紀と言えば長い、しかし過ぎてみればまた一瞬のことにように思われる、と解説されご講話が始まった。RIの50周年の記念式典は、1955年にシカゴクラブ発祥の地で盛大に行われたが、当時のRIの会長は「4つのテスト」の生みの親ハーバート・テラーであった。彼はこの式典で「過去は偉大な序曲である。過去に学んで行動せよ」という言葉を残した。この言葉をこれからの第2GのRC発展の礎石にして欲しい。そこにはすべてのRCにとって大事な行動と思索の源泉があるから。ロータリーの創立以来、「ロータリーとは何か」を探求してきた。そして得た結論はロータリーの目的は「人を作る運動」だということだった。職業人として自己の人格を高め自分の企業を繁栄させることができる。このことがロータリーの魅力であり、ロータリーの「存在理由」と「存在価値」はまさにそこに尽きる。そのため成人教育の場としてクラブ例会があり、例会出席と親睦が強調されてきた。今、ロータリーの目的が忘れられ、その結果魅力を失い、会員を失い、ステータスを失い、ロータリーはその土台から覆ろうとしている。

ポール・ハリスは「例会の一時間は神様になる時間だ」と言った。この良質な心を持って、会社に戻り企業をマネージすると社員を始め、顧客、取引先の間に関係が生まれる。最後にロータリーの本質を、「温故知新、先人が築いた過去智慧から学んで頂きたい」、と結んで満場の拍手で講話を終えられた。

矢橋ガバナー（以下DG）は総評の中で、塚原PGは、日本で有数の「ロータリーの生き字引」と絶賛し、同席された渡邊ガバナー・エレクト（以下GE）と、紹介された次年度会長・幹事さらには次期AGとにエールを贈られた。点鐘してIMは無事終了となった。

予定より15分ほど早く終わることが出来たのも、偏に塚原PGのご講話へのご配慮の賜物と感謝と感激をしているところである。

第2ラウンドは、午後4時からの滝川IRC創立50周年記念式典である。矢橋DG、渡邊GE、佐々木ガバナーノミニ（以下GN）をはじめ5名のPG、7名のAG、2名の地区幹事をはじめスポンサー・クラブである旭川IRC野口孝純会長、はるばる千葉県千倉RC（友好クラブ）の5名の会員や地区内外の各RCの会員と滝川市長をはじめ市内各界の長など約300名の出席のもと、凝りに凝ったビジュアルでハートフルな演出の式典が始まった。細田会長による点鐘の後、国歌とロータリーソングを斉唱、この10年間の物故者に黙祷を捧げ、柳実行委員長が冒頭式辞を朗読、充分に時間をかけてご参会された方々の紹介をして、会長挨拶と矢橋DGならびに田村滝川市長の祝辞と続いた。祝電を披露しスポンサー・クラブ表彰、会長・幹事・副会長経験者表彰、93歳になったチャーターメンバーの神部弘二名誉会員と43年間皆勤の佐藤克己会員を特別表彰した。記念事業として「ソーラップチ・キッズ・キャンプ」に記念碑とスノーモービル2台の目録贈呈を行った。滝川市からは大変喜んで戴き、市長より感謝状を授与された。式典は無事予定された時間内に終了し、点鐘して閉会した。



滝川市に開設準備中のキッズ・キャンプに対する今後に関しても注視していきたい。



最終ラウンドは午後5時半からの記念祝賀会であった。およそ300名の参加者を迎えて、鈴木副実行委員長が歓迎の挨拶を行い、海老原国学院短期大学学長の祝杯のご発声で開宴となった。DGやPG、さらにはAGや地区幹事と市長をはじめとする各界の長が座った上席は、さながら「滝川の地区大会前夜」を彷彿とさせる出来事であったように感じたのは私だけだったろうか。アトラクションは懐かしのオールデイズの曲に、チークダンスをする方も出るなど和気あいあいとした雰囲気最高の懇親の場であった。最後に滝川市選出の大河道議の万歳三唱で締め、比較的大きな会場にも関わらず、輪が幾重にもなった「手に手つないで」を川口RC会長エレクトの指揮で大いに熱唱し、盛会裏に散会となった。

ご出席された多くのご来賓各位、さらにはIMと創立記念行事に携わった滝川IRCすべての会員と、ご協力戴いた会員夫人に深甚なる感謝を申し上げ報告とする。

第2510地区親睦野球大会を終えて

岩見沢RC野球同好会 早川 卓伸
(岩見沢RC)

8月29日(金)前夜祭、8月30日(土)開会式と両日に渡り第27回全国ロータリークラブ野球大会地区予選での第2510地区親睦野球大会が岩見沢RCホストで参加チーム、前年度優勝の静内RC、伊達RC、滝川RC、今回初参加の小樽RC・小樽南RC連合の5チームで開催されました。以前は8チームの参加で盛大に行われておりましたが、会員の減少、高齢化によりチーム数が減り昨年は4チーム、今年度は小樽連合の参加にて5チームとなりました。

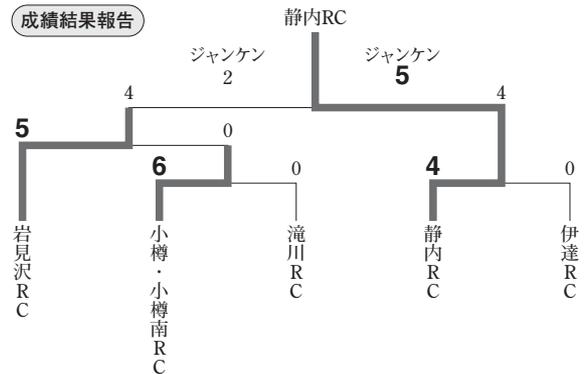


我が野球同好会は10年前、伊達RCの勧誘で初めて野球大会がある事を知り、過ぎ去りし青春時代の憧れの地、甲子園球場の素晴らしい感動と体験を味わいたく結成されました。結成時は滝川RCと対戦、大敗を喫し以後3年間連続1回戦敗退と不名誉な記録を更新し、その間新会員の増強、補強により優勝候補として恐れられるチームとして力をつけてきました。

今年度は8月29日(金)、例会に引き続き前夜祭が開催され公務多忙の中、名誉会員の岩見沢市長渡辺孝一様、また吉野ガバナー補佐のご臨席を賜り、5チーム計130名の参加で好意と友情の輪を広げて岩見沢の夜の



成績結果報告



街へと繰り出し、楽しい一夜を過ごす事が出来ました。

8月30日(土)、心配していた雨も上がり吉野ガバナー補佐の始球式で試合開始、小樽連合対滝川RCの対戦が行われ、昨日のアルコールが残っていたためか珍プレーが続出するなど和気藹々の中3試合が経過しました。決勝戦は予想通り昨年の決勝戦の再現、岩見沢RC対静内RCとなり実力伯仲で時間切れ4対4の引き分けで大会規定により9人のジャンケン勝負となりました。以前5連敗で敗れたことが思い出され、ジャンケンに弱い我がチーム、やはり2対5で敗れ昨年に続き見事、静内RCの優勝で盛会裡に終わることが出来ました。

また次回開催地は静内RCのホストで開催されることが決定されております。是非共、参加チームが増え親睦の輪が広がりますよう、また静内の夜で楽しい思い出を残せますようご期待申し上げます。

地区委員会報告

<p>■委員会名： GSE委員会</p> <p>■委員長： 岡崎 芳明</p>	<p>■開催日： 2008年8月25日（火）</p> <p>■開催場所： ロイトン札幌</p> <p>■出席人数： 9人</p>
<p>1. 派遣チームリーダーの選考（岡崎委員長） 前回の委員会の後、各クラブに要請したが、今のところ返事は無い。委員より、数名の候補者の名前が挙がり、その方々に接触を順次していくこととした。出来たら、10月の地区大会までに決定できると良いと考えている。</p> <p>2. 派遣メンバーの募集・選考（高橋委員、岡崎委員長） 募集を広く行うことが重要である。まず、募集の為にポスターを制作する必要がある。そのためのキャッチコピーを全員で検討することとした。このための掲示板を神部地区幹事が提供していただくこととなった。</p> <p>3. 相手地区との交信状況（石丸委員） 去る8月21日に、第2360地区よりRIIに対する申請書を提出した旨の連絡が入った。来年、バーミンガムで行われる国際大会に出席の意向も、連絡があった。</p> <p>4. 地区大会におけるブース設置の件（岡崎委員長） 地区大会実行委員会には、ブースの設置申込は行った。展示物をどのようにするか、また、どのような主旨で展示するか、次回の委員会までに検討し、次回決定する。次回は、9月17日（水）午後6時より、以上の討議を経て午後7時40分散会 出席者：岩城財団委員長、岡崎委員長、武藤副委員長、高橋、金坂、石丸、泉、トーキル各委員、神部地区幹事</p>	

2008—2009年度 WCS事業申請締切日のお知らせ

日頃はWCS事業に御理解と御支援を頂き、誠に有難うございます。おかげ様で本年度も、20クラブ程の皆様にも事業参加への申請を頂き、事業の開始手続きに入っております。昨年度事業につきましても完了をし、現在、東南アジアの子供達、人々への大きな力になっております。

また、本年度はマッチング・グラントの申請締切などに伴う準備を要する事から、**事業申請締切日を2008年12月20日**と設定させて頂くことと致しました。

事業申請予定でまだ申請を完了していないクラブにつきましては、期日までに申請をお願い致します。今後ともWCS事業への御理解、御支援をどうぞ宜しくお願い致します。皆様の温かい御支援をお待ちしております。

（申請用紙は第2510地区WCS委員会ホームページからもダウンロードできます。御利用下さいませ）

地区WCS委員長 出村 知佳子



ガバナー公式訪問

長沼ロータリークラブ

7月28日（月）

第7グループ長沼RC2008-09年度の会長として1年間務めさせていただくことになりました田嶋です。ロータリー歴は浅く、会員の仲間にはいつも教えられることばかりです。これから先の1年間を考えると不安でいっぱいですが、長沼RCのメンバーの皆さんは、驚くほど真摯で誠実な方ばかりです。労を厭わずサポートしてくれる安心感があり心強い限りです。本年度の地区目標のひとつに1クラブ1名純増を達成しようがあります。当クラブはここ何年間増減なく18名を維持してきましたが、前年度1名、そして新年度早々1名の新会員を迎えることが出来ました。新会員と共に智恵を出し合い、更なるクラブの活性化をはかり、国際ロータリーのテーマ「Make Dreams Real」に貢献していきたいと思えます。



札幌大通公園ロータリークラブ

8月4日（月）

ロータリーの新年度が始まり、8月4日にはクラブの行事として重要なガバナーの公式訪問の日を迎えた。当会は会員数が9名と少人数なので全員が理事を務めている。そのため、クラブ協議会と例会とは同じ顔ぶれになるので、会長・幹事懇談会の後、クラブ協議会を省略して直ちに例会に出席いただいた。例会では点鐘の後ロータリーソングを斉唱し、引き続き「四つのテスト」を唱和した。当クラブでは毎回の例会で「四つのテスト」を唱和しているが、それはちょうど2008-09年度の地区目標に沿ったものである。矢橋ガバナーから地区目標についての講話の後、全会員を含めて話し合いをすすめた。最後は土谷享ガバナー補佐からの講評で公式訪問を締めくくった。



岩見沢東ロータリークラブ

8月5日（火）

8月5日、当クラブに矢橋ガバナーの公式訪問を頂き緊張の1日を送りました。会長・幹事会の開始40分前に来場され、時間まで喫茶室で雑談を致しましたが、ガバナーの気さくな言葉で和やかに時間を過ごすことができました。会長・幹事会では、喫茶室の雰囲気そのまま持ち込まれ、私どもの緊張が和らいだひと時であります。クラブ協議会では、当クラブ各委員長によります年間事業計画にも熱心に耳を傾けて頂き、貴重なご意見・ご指導を頂きました。RI会長のテーマ「夢をかたちに」、そしてガバナーの「正夢を分かちあいましょう」を当クラブの合言葉に、これからも邁進致したいと思えます。ご指導宜しくお願い致します。本年度、矢橋ガバナーのご健康・ご活躍を祈念申し上げます。



由仁ロータリークラブ

8月7日（木）

晴天に恵まれた公式訪問は予定を変更して、会長・幹事会はゆにガーデンにて行いました。（写真）日陰のテラスで風が心地よく、良いおもてなしができたと思っております。また、開放的な風景の中でガバナーに小さなクラブの活動をお聞きいただいたり、ガバナーのロータリーにまつわるいろいろなお話をお聞きできたことを会長、幹事、エレクト一同感謝しております。



クラブ協議会・例会は何時もどおりの由仁町民センターにて行いました。ガバナー卓話、誕生祝いの会員にはガバナーから祝い品を手渡していただきました。矢橋ガバナー・羽芝ガバナー補佐には、再びご夫婦でゆにガーデンを訪れていただきたいという思いをこめて“ゆにガーデンシーズン入場券”を贈呈いたしました。

深川・妹背牛ロータリークラブ

8月19日（火）

午前10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会が開催され、深川IRC・妹背牛RCそれぞれのクラブの現況説明と活動計画について説明の後、ガバナーよりアドバイスを頂いた。午後12時30分からは合同例会が開催され、国歌斉唱「四つのテスト」斉唱などセレモニーの後、矢橋温郎ガバナーのスピーチでロータリーへの熱い思いをお聞かせ頂いた。例会終了後、大西道祥ガバナー補佐とご一緒に深川市役所へ山下市長を表敬訪問いただき、ガバナーと市長の和やかな懇談のうちに公式訪問の日程を終了した。ありがとうございました。



留萌・羽幌・小平ロータリークラブ

8月20日（水）

8月20日（水）、矢橋温郎ガバナー公式訪問を羽幌RC、小平RC、留萌RC合同として行い、10時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会、昼食を挟んで12時30分より例会と早朝より出席された3クラブ会員と共に終始和やかなうちに終わることができました。矢橋ガバナーには「夢をかたちに」、「強調事項」は勿論のこと、語りかけることの重要性を再認識させて戴きました。大西ガバナー補佐にはIMの日程。仮テーマの報告を戴きました。共にロータリーへの情熱を静かに身体にまとい、言葉の端にその熱を垣間見せる様は、晴天に恵まれたこの日によくお似合いになっていました。



蘭越ロータリークラブ

8月25日（月）

矢橋ガバナー、佐藤ガバナー補佐を迎えての公式訪問では有意義な楽しい時間でした。会長・幹事会の途中で我がクラブではロータリー歴の長い新見 健会員、又地区の世界社会奉仕副委員長の志比川武会員も同席し、蘭越ロータリークラブの活動状況等を報告し、ガバナーのご教示を戴きました。一切、堅苦しさはなく、互いに忌憚のない会長・幹事会でした。最後は、ロータリー四方山訪で花を咲かせ、所定の時間が少ないくらいでした。その後、クラブ協議会、そしていつも通りの例会へと進行し、ガバナーも蘭越ロータリークラブの特徴であるフレンドリーな身の丈に合った活動を続けている事を感じとられたと思います。大変楽しい公式訪問でした。矢橋ガバナー有難うございました。



小樽ロータリークラブ

8月26日（火）

矢橋温郎国際ロータリー第2510地区ガバナーと佐藤泰視第6グループ担当ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。午前10時より「会長、幹事、会長エレクト、副幹事懇談会」が始まり、ガバナーより第2510地区の歴史および現況の説明があり、当クラブからはCLPの導入案につき質問いたしました。ガバナーより的確なご示唆を戴きました。11時よりクラブ協議会が開催され、会長方針、四大奉仕委員長の活動方針、続いて各委員長より活動計画の発表がありました。その後ガバナーよりアドバイスを戴きました。12時30分よりほとんどの会員が出席のもと例会が開催され、佐藤ガバナー補佐よりガバナー紹介を頂き、矢橋ガバナーより李東建RI会長の方針と第2510地区の目標についてのお話を戴き、矢橋ガバナーのロータリーへの熱意を会員に話して頂きました。大変なごやかなうちに終了させていただきました。



余市ロータリークラブ

8月27日（水）

午前10時より会長・幹事会が始まりクラブ協議会、例会と進み、特にクラブ運営について又CLPについての注意点等について詳しくお話を戴きました。その後例会では講師として講演を戴き、RI会長の強調事項、米山・財団の近況、ポリオ・プラス、CLP等について細かにお話を戴きました。又国際大会への参加、10月25日～26日地区大会参加へ沢山の参加呼びかけにて公式訪問例会を無事終了致しました。



岩内ロータリークラブ

8月28日（木）

例会に先立ち、会長・副会長・会長エレクト・幹事との懇談会及びクラブ協議会を行いました。例会では、矢橋ガバナーが地区ローターアクト委員長をした当時の岩内クラブでの思い出話、ロータリー財団、米山記念奨学会に関するお話をされました。最後に地区目標の四つのテストの唱和、財団への1人100ドルの寄付、1クラブ1名会員増を掲げ、和やかに公式訪問は終了致しました。



訃報 岩田弘志 前ガバナー補佐が逝去



岩田 弘志 会員（室蘭RC）
2008年7月29日逝去（享年84歳）

■主なロータリー歴

1996年2月15日	室蘭ロータリークラブ入会
1999～2000年度	第54代会長
2003～2004年度	国際奉仕委員長
2007～2008年度	ガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

岩田弘志会員を偲んで

パストガバナー 酒井 正人

岩田弘志会員が7月29日、脳幹出血のためご逝去されたとの報に接し心からご冥福をお祈り致します。岩田弘志会員は1996年2月15日室蘭ロータリークラブに入会し1999～2000年度、同クラブの会長を務め、私のガバナー年度である2007～2008年度には第9グループ担当のガバナー補佐を務められました。

岩田ガバナー補佐は日頃から地球環境問題には特に興味を示すと共に、熱心に取り組んでおりました。当時のガバナー補佐会議においてもこの種の問題、地球温暖化対策などにはクラブや地区レベルを越えて日本のロータリアンが一致団結して取り組むべきであると力説していたのを関係者の記憶に残っていることと思います。本年2月には室蘭市において第9グループのインターシティーミーティングが岩田弘志ガバナー補佐のご指導のもと開催され、テーマに「室蘭工業大学と地域 — 特に地球環境問題」を取り上げ、基調講演に室蘭工業大学の丸山 博氏により、気候変動に関する政府間パネルの最新レポートによって、直面している温暖化問題にどのような対策が必要であるか等を問題提

起し、パネルディスカッションでは産学関係者による対策に実例を紹介する等ご自身の関心の高さを実証していました。

ご承知の通り、岩田氏は胆振支庁長、道商工観光部長を経て室蘭市長を昭和54年から平成7年4月まで4期16年務めました。その間、新日鉄室蘭の高炉存続に最も力を入れ、財政再建と行政改革に着手、現在も受け継がれる改革の基礎を築いた手腕の持ち主でもありました。勇退の翌年からロータリアンとしてロータリー活動をしておりましたが市長としての行政の経験を生かし発想と行動力はロータリー以外にも活躍の場を広げ自ら代表を務める国際民間交流組織・タイ東北部奨学基金の活動ではタイ教育省から表彰も受けたほどです。

特に私の記憶には公式訪問やインターシティーミーティング、そして最後にお目に掛かった本年6月に登別で開催されたインターアクト年次大会等でお逢いしたとき、いつも私の体調を気遣い「大丈夫か、無理をするな」と声をかけて下さったのが忘れられません。

岩田弘志会員享年84歳、氏のご遺徳を偲び、衷心より哀悼の意を表します。 合掌

室蘭ロータリークラブ会長 吉澤 政彦

7月29日、岩田弘志会員がご逝去されました。

毎週お元気に例会に出席されておりましたので信じられず、大変驚いています。これまで室蘭市に対するご貢献始め、多方面に数々の業績を残されました。まだまだこれからとも思いますと、大変残念でなりません。

岩田会員は9年前、第54代の会長として見事な手腕を発揮されました。また、昨年度は第2510地区のガバナー補佐として重責を担われ、すぐれた見識で大所高所から私どもを指導されました。特に本年2月16日に開催されたIM「室蘭工業大学と地域…特に地球環境問題について…」では、ガバナー補佐として成功されたこと

は、記憶に新しいところです。

今年度のクラブの活動につきましても、「地球環境、温暖化、省エネ、省資源の問題は避けて通れない。結果がなかなか見えるものではないが、小さなことでも身近な所から取り組む必要がある」と常々仰っていました。

私どもは岩田会員の遺志として何か形に表し、そのことの一端をこれから実行致します。

これまで室蘭ロータリークラブと私共会員に寄せられました数々のご厚情に、衷心より感謝申し上げます。奉仕の実践を率先された岩田会員のご冥福を祈り、お別れの言葉と致します。 合掌

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



寺岡 秀一
(江別西RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 情報処理



坂本 与市
(江別西RC)

■入会/ 7月15日
■職業分類/ 生態系保全協会



鈴木 良二
(江別西RC)

■入会/ 8月12日
■職業分類/ 自動車卸売業



池田 博英
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 建設業



泉澤 洋介
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 金融



氏江 経雄
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 薬局



川崎 正春
(様似RC)

■入会/ 7月1日
■職業分類/ 金融



東谷 守
(森RC)

■入会/ 7月9日
■職業分類/ 水産物卸売業



佐々木嗣明
(苫小牧RC)

■入会/ 8月1日
■職業分類/ 新聞発行



成田 雅則
(苫小牧東RC)

■入会/ 8月7日
■職業分類/ 電力供給

訃 報



松宮 國彦 会員 (札幌東RC)

2008年6月10日逝去 (享年64歳)

【ロータリー歴】

1999年8月5日入会

2003~2004年度 国際奉仕委員長

2004~2007年度 地区国際親善奨学金委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (4回)

米山功労者 (1回)

岩手・宮城内陸地震災害義援金報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました『岩手・宮城内陸地震災害義援金』について、下記の61クラブから総額2,053,436円を頂戴し、8月19日にガバナー会へお振込みしましたのでご報告致します。皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

深川 R C	岩見沢東 R C	札幌東 R C	余市 R C	室蘭東 R C	函館東 R C
羽幌 R C	栗沢 R C	札幌清田 R C	千歳 R C	室蘭北 R C	函館北 R C
妹背牛 R C	当別 R C	札幌幌南 R C	千歳セントラル R C	登別 R C	白老 R C
小平 R C	札幌 R C	札幌真駒内 R C	恵庭 R C	函館 R C	苫小牧 R C
留萌 R C	札幌あけぼの R C	札幌南 R C	長沼 R C	函館亀田 R C	苫小牧東 R C
砂川 R C	札幌はまなす R C	札幌大通公園 R C	由仁 R C	森 R C	苫小牧北 R C
滝川 R C	札幌北 R C	新札幌 R C	えりも R C	七飯 R C	
美唄 R C	札幌モーニング R C	岩内 R C	三石 R C	長万部 R C	
江別 R C	札幌西 R C	小樽 R C	静内 R C	函館セントラル R C	
江別西 R C	札幌西北 R C	小樽南 R C	伊達 R C	江差 R C	
岩見沢 R C	札幌手稲 R C	小樽銭函 R C	室蘭 R C	函館五稜郭 R C	

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	川島 昭二 会員 (1回) 7月18日
芦別 R C	関口 孝八 会員 (1回) 7月18日
岩見沢東 R C	坂口 堅一 会員 (2回) 7月11日
岩見沢東 R C	稲垣 政敏 会員 (1回) 7月11日
岩見沢東 R C	渡辺 劭 会員 (2回) 7月11日
岩見沢東 R C	渡辺 博人 会員 (2回) 7月11日
札幌真駒内 R C	吉村 洋吉 会員 (8回) 7月18日
砂川 R C	竹田 俊一 会員 (1回) 8月29日
砂川 R C	山田 信一 会員 (1回) 8月29日
滝川 R C	泉 敬止 会員 (1回) 8月29日
滝川 R C	神部 洋史 会員 (4回) 8月29日
滝川 R C	上田 英二 会員 (1回) 8月29日
滝川 R C	中島 健 会員 (6回) 8月29日
滝川 R C	細田 光人 会員 (3回) 8月29日

江別 R C	安孫子建雄 会員 (2回) 6月20日
札幌清田 R C	三戸 和昭 会員 (2回) 8月29日
札幌南 R C	山口 潔 会員 (1回) 8月29日
苫小牧北 R C	紺野 誠一 会員 (5回) 8月1日

■ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	荒川 忠義 会員 7月18日
芦別 R C	角幡 裕明 会員 7月18日
芦別 R C	滝 勝美 会員 7月18日
芦別 R C	沼前 治孝 会員 7月18日
芦別 R C	野口 英明 会員 7月18日
江別西 R C	服部 涉 会員 7月11日
砂川 R C	山崎 義彦 会員 8月29日
札幌西北 R C	小林 義伸 会員 8月29日
札幌西北 R C	秋山 秀雄 会員 8月29日
札幌清田 R C	村本 忠 会員 8月29日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢東 R C	津元美智代 会員 (2回) 7月8日
札幌北 R C	樋口 正明 会員 (5回) 7月25日
札幌北 R C	福田十太郎 会員 (7回) 7月25日
札幌北 R C	竹原 巖 会員 (9回) 7月25日
函館東 R C	松山 茂 会員 (2回) 7月30日
函館東 R C	渡辺 友子 会員 (5回) 7月30日

札幌西 R C	森谷 明弘 会員 (6回) 8月5日
札幌西北 R C	小林 義伸 会員 (1回) 8月29日
札幌大通公園 R C	田中 利男 会員 (1回) 8月5日
伊達 R C	新井田 孝 会員 (1回) 8月21日

■米山功労クラブ

札幌北 R C	24回 7月25日
函館東 R C	21回 7月30日



2008-09年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会来訪 RI会長代理の紹介

名 前：Vicente J. Carlos (ヴィセンテ・カルロス) 愛称ヴィンセ
 生 年 月 日：1945年11月19日 (62歳)
 生 誕 地：フィリピン、マニラ市
 職 業：弁護士 (職業分類：航空法弁護士)
 所属クラブ：マニラ・ロータリークラブ
 第3810地区 1990-91年度ガバナー

2011-2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 矢 橋 温 郎

地区ガバナー指名委員長 塚 原 房 樹

2011-2012年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長 (地区ガバナー事務所気付) 宛、文書 (書式任意) をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項~5項及び第8節の資格条件に適用していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条 (ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定



(252号)

[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎ [世界の現状と日本の針路]
奥田 碩 2007 15p (D.2760)
- ◎ [今、日本が直面する内外の課題]
櫻井よしこ 2007 10p (D.2570)
- ◎ [世界の潮流と日本の進路]
寺島実郎 2007 9p (D.2660)
- ◎ [国家の品格]
藤原正彦 2007 4p (D.2650)
- ◎ [新政権でも改革と挑戦は続く
~求められる幾百人のリーダーたち]
佐々木 毅 2007 8p (D.2540)
- ◎ [地域から交流する日本~オホーツクへの期待]
月尾嘉男 2007 3p (D.2500)
- ◎ [歴史から見た大阪~浪華の民活]
松平定知 2007 4p (D.2660)
- ◎ [自然のすごさに学ぶ]
石田秀輝 2007 20p (D.2800)
- ◎ [夢をもたらす氷の世界]
本堂武夫 2007 8p (D.2510)
- ◎ [人と地球の命のために-今、私たちにできること]
C.W.ニコル 2007 6p (D.2820)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

10月のロータリーレート 1ドル=106円

出席率・会員数

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.8.31	増減	内女性		
1	深 川	3	36	36	0	3	90.36	
	羽 幌	3	48	48	0	1	89.13	
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	77.78	
	小 平	4	14	14	0	0	71.43	
	留 萌	3	45	45	0	0	89.92	
	小 計			152	152	0	4	83.72
2	赤 平	3	29	28	-1	1	86.60	
	芦 別	3	44	44	0	0	92.31	
	砂 川	3	52	54	2	0	95.06	
	滝 川	4	99	101	2	1	78.00	
	小 計			224	227	3	2	87.99
3	美 唄	3	38	38	0	0	89.60	
	江 別	3	34	34	0	1	86.27	
	江 別 西	3	27	29	2	3	89.65	
	岩 見 沢	3	87	89	2	0	91.57	
	岩 見 沢 東	4	34	35	1	4	90.63	
	栗 沢	3	23	24	1	1	98.40	
	栗 山	3	26	26	0	2	96.83	
	当 別	1	34	34	0	0	89.01	
	小 計			303	309	6	11	91.50
	4	札 幌	3	117	123	6	0	98.14
札幌あけぼの		3	18	17	-1	1	96.00	
札幌はまなす		3	25	25	0	4	75.36	
札 幌 北		3	43	42	-1	6	89.43	
札幌モーニング		3	49	51	2	0	75.70	
札 幌 西		4	62	63	1	4	94.74	
札 幌 西 北		3	39	41	2	5	93.01	
札 幌 手 稻		4	34	35	1	1	96.43	
小 計				387	397	10	21	89.85
5		札 幌 東	3	120	122	2	0	95.58
	札 幌 清 田	3	18	18	0	4	100.00	
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	98.25	
	札 幌 真 駒 内	3	35	36	1	3	94.18	
	札 幌 南	3	92	95	3	0	94.51	
	札幌大通公園	4	9	9	0	2	88.90	
	札幌セントラル	3	14	14	0	6	73.20	
	新 札 幌	3	32	33	1	3	88.51	
	小 計			385	392	7	18	91.64
6	岩 内	3	21	21	0	0	85.18	
	俱 知 安	3	46	46	0	4	72.60	
	小 樽	3	69	69	0	0	86.46	
	小 樽 南	4	73	73	0	0	92.14	
	小 樽 銭 函	3	21	21	0	2	85.00	
	蘭 越	4	11	11	0	0	82.50	
	余 市	3	39	41	2	4	88.00	
	小 計			280	282	2	10	84.55

8月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,862(98人)
増加会員数	46人
当月平均出席率	86.04%

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.8.31	増減	内女性		
7	千 歳	3	63	64	1	3	78.60	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	72.14	
	恵 庭	3	39	40	1	0	86.32	
	北 広 島	3	17	17	0	0	86.28	
	長 沼	4	20	20	0	3	81.25	
	由 仁	3	10	10	0	0	85.19	
	小 計			184	186	2	7	81.63
8	え り も	3	22	22	0	0	82.57	
	三 石	4	15	15	0	1	93.33	
	様 似	4	23	23	0	1	83.70	
	静 内	3	72	74	2	1	74.53	
	浦 河	3	34	34	0	2	99.02	
	小 計			166	168	2	5	86.63
	9	伊 達	4	53	54	1	0	79.62
室 蘭		3	43	44	1	0	80.62	
室 蘭 東		3	41	41	0	0	77.90	
室 蘭 北		3	34	34	0	2	100.00	
登 別		3	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	92.00	
小 計				211	213	2	4	85.67
10	函 館	3	87	87	0	0	74.93	
	函 館 亀 田	3	45	45	0	2	99.24	
	森	3	34	35	1	0	77.10	
	七 飯	3	16	16	0	0	77.00	
	長 万 部	3	10	10	0	0	83.30	
	函館セントラル	3	24	28	4	1	58.33	
	小 計			216	221	5	3	78.32
11	江 差	4	19	19	0	1	68.30	
	函 館 五 稜 郭	4	55	57	2	0	100.00	
	函 館 東	3	45	45	0	4	86.99	
	函 館 北	3	30	31	1	0	90.00	
	北 斗	3	19	18	-1	2	72.20	
	松 前	3	5	5	0	0	80.00	
	小 計			173	175	2	7	82.92
12	白 老	3	26	26	0	0	70.67	
	苫 小 牧	4	50	55	5	2	80.00	
	苫 小 牧 東	3	25	26	1	2	91.02	
	苫 小 牧 北	4	34	33	-1	2	88.25	
	小 計			135	140	5	6	82.49
合 計			2,816	2,862	46	98	86.04	

地区カレンダー（10月・11月）

10月 職業奉仕月間、米山月間	
1 (水)	公式訪問 (森RC)
2 (木)	公式訪問 (函館RC)
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	公式訪問 (札幌南RC)
7 (火)	公式訪問 (当別RC)
8 (水)	公式訪問 (札幌モーニングRC)
9 (木)	公式訪問 (苫小牧東RC)
10 (金)	
11 (土)	ロータリー地区協議会 (函館)
12 (日)	
13 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌) 体育の日
14 (火)	公式訪問 (苫小牧北RC)
15 (水)	
16 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	公式訪問 (函館セントラルRC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
25 (土)	地区年次大会 (札幌)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問 (白老RC)
29 (水)	公式訪問 (新札幌RC)
30 (木)	公式訪問 (千歳RC)
31 (金)	

11月 ロータリー財団月間	
1 (土)	岩見沢ロータリークラブ創立40周年記念式典 (岩見沢)
2 (日)	
3 (月)	文化の日
4 (火)	公式訪問 (七飯RC)
5 (水)	公式訪問 (函館北RC、北斗RC)
6 (木)	公式訪問 (江差RC、松前RC)
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	公式訪問 (札幌清田RC、札幌セントラルRC)
12 (水)	公式訪問 (札幌真駒内RC)
13 (木)	公式訪問 (札幌西北RC)
14 (金)	小樽RC創立75周年記念式典 (小樽) 公式訪問 (札幌幌南RC)
15 (土)	公式訪問 (札幌手稲RC)
16 (日)	
17 (月)	公式訪問 (札幌北RC)
18 (火)	公式訪問 (札幌はまなすRC)
19 (水)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
20 (木)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー (東京)
21 (金)	ロータリー研究会 (東京)
22 (土)	ロータリー研究会 (東京)
23 (日)	勤労感謝の日
24 (月)	振替休日
25 (火)	公式訪問 (北広島RC)
26 (水)	公式訪問 (札幌RC)
27 (木)	公式訪問 (札幌東RC)
28 (金)	
29 (土)	第3グループIM (栗沢)
30 (日)	

地区組織等の変更について

ロータリー財団より遠藤正之PGの逝去により、第1ゾーン・カードコーディネーターが当地区の伊藤長英PGに指名されました旨ご連絡がありました。

過日の地区ガバナー諮問委員会にて遠藤正之PGの逝去に伴い、地区研修リーダーを塚原房樹PGに変更することに決定致しました。

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別RC：10月16日（木）の例会を10月14日（火）に変更
- 江別西RC：10月14日（火）江別RC・江別西RC合同例会 18：30～ 場所：江別市民会館
- 岩見沢RC：10月23日（木）の例会は10月26日（日）地区大会参加のため振替
10月30日（木）の例会を下記に変更
11月1日（土）岩見沢ローターアクトクラブ創立40周年記念式典
16：30～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東RC：10月7日（火）の例会は第11回岩見沢東RC杯争奪少年サッカー大会（9月23日）の振替休会と致します。
10月14日（火）の例会を下記に変更
10月19日（日）12：30～ 場所：いわみざわ公園
10月21日（火）移動夜間例会 場所：焼肉ラマ
10月28日（火）の例会は地区大会（10月26日）の振替休会と致します。
- 当別RC：10月14日（火）第12回ロータリー&ライオンズ交流合同例会 18：00～
場所：田西会館
- 小樽RC：10月7日（火）移動例会 12：30～ 場所：小樽住吉神社
- 室蘭RC：10月15日（水）3RC合同職場訪問例会 場所：札幌地方裁判所室蘭支部
10月16日（木）10月15日に振替
10月30日（木）休会
- 室蘭東RC：10月15日（水）3RC合同職場訪問例会 場所：札幌地方裁判所室蘭支部
10月29日（水）休会

編集後記

故遠藤正之PGの悲しみが未ださめやらぬうちに、岩田弘志前地区ガバナー補佐（第9グループ担当）の悲報が飛び込んで来て我々を慌てさせた。あんなにお元気だったのにという思いは皆一様に感じた。亡くなる丁度1ヶ月前に長文のメールを頂戴した。内容を要約すると締切1ヶ月後に報告書の提出の催促を受けた。直ちにまとめ速達で送付したのだが、大体にして地区からの書類が多すぎる。又各種報告の提出期限がまちまちで色々仕事の事や他の団体の役員を仰せつかっていたり、又ガバナー補佐としての各種会議、IMの企画から実施まで等に多忙を極めている。お互いの繁雑さを避けるためにも事務局より書類、報告の類の一覧表でも事前にお送り戴ければ失念なかったのではないか。大事な報告書提出には期限近くに注意を喚起するようメールの一本でも欲しかった等一つ一つの事例を挙げ細かな事がびっしり書き込まれていた。一つ一つ尤もな事と思い、近いうちにお小言に対しお話を承る機会をと思っていた矢先であった。岩田氏はしばしば、会合毎に必ず発言され高邁な理念を通して忘れ去られているロータリーの真髄を呼び起こすようなお話をされた。又ともすればロータリーのルールや毎年変わる諸事について言及し、それに追われるあまり形骸化に陥らんとするロータリーに喝を入れるような話等、正に塩爺（ジイ）ならぬ岩

田爺とでも言うべき人であった。会合出席者全員に強い印象を残されたのだ。件のメールはガバナー事務所の引継ぎをしっかりやるよう要請し、最後に次の一文を残している。「1年半の間、各会議では必ず発言し、うるさい爺（ジジイ）と言われたのでしょうが、これで終りと致します。お喧しい事でご迷惑だったでしょう」もって最後のお言葉を傾聴し、心から御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

色々なポジションの方々に出稿をお願いする。毎年各々の強化月間に従った。だがイレギュラーの出稿要請もある。前号での洞爺湖RC、千葉幹事の地元でしか判らないG8のドキュメントを特別寄稿戴いた。編集会議で話し合い、洞爺湖RCの阿野会長にご依頼申し上げたら千葉幹事から原稿が提供されたのだ。恐らく北海道では我々生きているうちは二度と経験できないであろうサミットである。一般新聞では報道されぬ地元ロータリアンの眼を通した模様である。これを見たロータリーの友の橋本信夫地区委員より直ちに連絡が入り、ロータリーの友への転載を申し出てきた。多分近く友誌上で改めて全国の皆様に披露されるわけだが、我々としてもどういう形で掲載されるのか今から楽しみである。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)

お詫びと訂正 ガバナー月信9月号（第3号）P15下段、2：閉会式の部分において「次はカナダのトロント」となっておりますが、次は「カナダのモントリオール」の間違いです。お詫び申し上げます。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：札幌藻岩山麓ななかまど
撮影：田宮 哲夫 札幌西RC